

令和5年度 学習計画(シラバス)

教科	科目	対象学年 コース	単位数	担当者氏名	教科書 著者 発行所	使用教材・発行所
地理歴史	日本史B	3学年 (文系・ コース)	4	岡部 英人	日本史B新訂版 著者: 脇田修 大山喬平 ほか14名 実教出版株式会社	日本史重要語句Check List(啓隆社) 詳説日本史ノート(山川出版社)
指導の重点	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。					
評価の観点	関心・意欲・態度	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。				
	思考・判断・表現	歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。				
	資料活用・技能	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。				
	知識・理解	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。				
学習の評価	1. 授業への取り組みや課題の提出状況等において「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」を評価する。 2. 定期考査で、「思考・判断・表現」「資料活用・技能」「知識・理解」を評価する。 3. 1の評価に2を加味し、総合的に評価する。					
学期	月	考査	単元	学習内容	学習の目標(評価)	
1	4	中間	第6章 武家社会の展開と近世の文化	惣村の発展と応仁の乱 1. ヨーロッパ人の来航 2. 織豊政権 3. 桃山文化 4. 幕藩体制の成立	<ul style="list-style-type: none"> 交通や諸産業が発達してきたのは国内が安定した結果であり、それによって商人が台頭し、都市が発達していった展開を理解することができる。 武断政治から文治政治へと転換していった流れをとらえることができる。 元禄期の経済発展と幕政の安定を背景に、上方の豪商を中心に町人たちに担われた元禄文化の特色を理解し、学問、文芸、美術の諸側面について文化の特色を考察する。 	
			第7章 幕藩体制の展開と近世の文化	4. 幕藩体制の成立 5. 鎖国 6. 近世の生活と文化	<ul style="list-style-type: none"> 度重なる政治改革にもかかわらず、鎖国下における幕藩体制のひずみが広がっていく展開をとらえていくことができる。 江戸町人文化として生まれた化政文化の背景とその特色を理解することができる。 幕府の財政の悪化のなかで実施された享保の改革の諸政策を、財政の再建、都市政策の2つ側面から考察する。 	
		第8章 幕藩体制の動揺と文化の成熟	1. 幕府政治の転換 2. 経済の発展 3. 元禄文化 4. 幕藩体制の動揺と幕府の改革 5. 列強の接近と天保の改革	<ul style="list-style-type: none"> 改革に失敗した幕府が、成功した雄藩に倒されていく流れを理解することができる。 明治維新という大きな歴史の転換を、世界の動きの中でとらえ、西洋化していく様を文化面でもつかむことができる。 不平士族たちが言論で政府に抵抗していこうとして始まった自由民権運動の展開を段階的に整理することができる。 		
	7	期末	第9章 近代への転換	1. 開国と幕末の動乱 2. 明治維新と富国強兵 3. 立憲国家の成立と日清戦争	<ul style="list-style-type: none"> 条約改正にあえぐ一方、日清戦争に踏み切った外交面を考察する。 日露戦争を経て、近代国家として認められつつあった日本の立場を考察していくことができる。 近代産業の発達の諸相と労働者階級の姿に着目することができる。 学問の発達や教育制度の変遷に注目し、近代文化の特色をとらえることができる。 伝統と近代化の中で葛藤しつつ新しく想像されていくことをとらえることができる。 	
			第10章 二つの世界大戦とアジア	4. 日露戦争と国際関係 5. 近代産業の発展 1. 第一次世界大戦と日本 2. ワシントン体制	<ul style="list-style-type: none"> 第一次大戦の影響とそれを利用しようとした日本の動きについて整理し理解することができる。 協調外交の時代の世相と大戦後の不況に苦しむ日本経済の動向をつかむことができる。 米騒動をきっかけに生まれた政党政治の動きと、ロシア革命の影響で活発化した社会運動を理解することができる。また、大衆文化誕生の背景と内容を知ることができる。 	
	2	10	中間	第11章 占領下の日本	3. 市民生活の変容と大衆文化 4. 恐怖の時代 5. 軍部の台頭	<ul style="list-style-type: none"> 恐慌の中で破綻した日本経済が、大衆進出という暴挙を導いた経緯を理解することができる。 日中戦争に行き詰まった日本が、第二次世界大戦を引き起こしていく展開を整理・理解することができる。 日中戦争から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や統制制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。
				第12章 高度成長の時代	1. 占領と改革 2. 冷戦開始と講話	<ul style="list-style-type: none"> 敗戦後のGHQ占領下での民主化の動きと国民生活の変化をつかむことができる。 国際情勢の変化が占領政策の転換を導いていった展開を理解することができる。 戦後の自由・民主化の中で生まれてきた文化の展開をまとめることができる。 冷戦構造のもとで対立が激化する一方、米・ソの圧倒的優位がゆらぎ、東西両陣営とともに多極化した国際情勢を考察する。
12		期末	第13章 激動する世界と日本	・55年体制 ・経済復興から高度成長へ	<ul style="list-style-type: none"> 共産圏拡大の防波堤としての役割を担って独立した、日本の国際的な立場を理解していくことができる。 経済発展と共に沖縄の祖国復帰や日中国交正常化実現への経緯を知ることができる。 驚異的な高度経済成長とその一方で公害など社会の諸相・文化が大きく変化していった様子をとらえることができる。 	
			総まとめ	演習	<ul style="list-style-type: none"> 石油危機後の国際経済体制の変化とそのもとで国内政治体制も大きく変化していった様を理解することができる。 冷戦の終結後から現代社会がどのようにして形作られてきたのか、その歴史的思考力を培いながら理解し、現代社会の課題について自らの考えを深めさせる。 	
3	3	学年末				